

令和6年1月19日
水管理・国土保全局防災課
大臣官房参事官(運輸安全防災)
道路局環境安全・防災課
物流・自動車局安全政策課
気象庁

大雪に対する国土交通省発表

- 低気圧が本州の南岸を東へ進むため、関東甲信地方では20日午後から21日にかけて、山沿いや山地を中心に大雪となる所があり、関東地方南部の平地でも積雪となる所がある見込みです。予想より気温が低くなり、降雪が強まった場合には、山沿いや山地を中心に関東地方南部の平地でも警報級の大雪となる可能性があります。今後発表する防災気象情報に留意してください。
- やむを得ず自動車を運転する場合は、ドライバーの皆様には、冬用タイヤの装着、チェーンの携行及び早めの装着の徹底、スコップや砂等の冬用装備の携行をお願いします。また、降雪状況等により、広範囲で高速道路と並行する国道等が同時に通行止めとなる場合があります。広域迂回の実施や通行ルートの見直しなどのご協力をお願いします。
- 過去の大雪の際には、大型車の立ち往生が主な原因となり、交通に甚大な影響が生じています。運送事業者は、大雪時等において、輸送の安全の確保に支障が生ずるおそれがあるときは、事業用自動車に冬用タイヤが装着されていることの確認を行う等、安全を確保するために必要な措置を講じることが必要です。なお、雪道において悪質な立ち往生が発生した場合には、監査を行い事実関係を確認したうえで、講じた措置が不十分と判断された場合は、行政処分の対象となります。適切な運行管理を行うようお願いいたします。一方で荷主においても、トラック事業者への不要不急の運送依頼を控えていただくようお願いいたします。
- 大雪が予想される地域では、公共交通機関においても、大規模かつ長時間にわたる遅延や運休が発生するおそれがあります。
- 最新の気象情報や交通情報等に留意し、大雪の場合は、テレワークの活用などを含め不要不急の外出を控えてください。外出が必要な場合には、十分な時間の余裕を持って行動いただくようお願いいたします。

【問い合わせ】

(全般)

国土交通省 水管理・国土保全局 防災課災害対策室 企画専門官 赤沼 隼一
TEL(直通): 03-5253-8461(内線 35762)

(公共交通機関に関すること)

大臣官房参事官(運輸安全防災)付 災害対策推進官 佐藤 貴士
TEL(直通): 03-5253-8309(内線 25623)

(道路に関すること)

道路局 環境安全・防災課道路防災対策室 課長補佐 佐々木 靖
TEL(直通): 03-5253-8489(内線 38282)

(自動車運送事業に関すること)

物流・自動車局 安全政策課 課長補佐(総括) 小柳 美枝子
TEL(直通): 03-5253-8566(内線 41602)

(気象の見通しに関すること)

気象庁 大気海洋部 業務課 気象情報企画官 酒井 亮太
TEL(直通): 03-3434-9055(内線 4107)

- 低気圧が本州の南岸を東へ進むため、関東甲信地方では20日午後から21日にかけて、山沿いや山地を中心に大雪となる所があり、関東地方南部の平地でも積雪となる所がある見込みです。予想より気温が低くなり、降雪が強まった場合には、山沿いや山地を中心に関東地方南部の平地でも警報級の大雪となる可能性があります。今後発表する防災気象情報に留意してください。
- やむを得ず自動車を運転する場合は、ドライバーの皆様には、冬用タイヤの装着、チェーンの携行及び早めの装着の徹底、スコップや砂等の冬用装備の携行をお願いします。また、降雪状況等により、広範囲で高速道路と並行する国道等が同時に通行止めとなる場合があります。広域迂回の実施や通行ルートの見直しなどのご協力をお願いします。
- 過去の大雪の際には、大型車の立ち往生が主な原因となり、交通に甚大な影響が生じています。運送事業者は、大雪時等において、輸送の安全の確保に支障が生ずるおそれがあるときは、事業用自動車に冬用タイヤが装着されていることの確認を行う等、安全を確保するために必要な措置を講じることが必要です。なお、雪道において悪質な立ち往生が発生した場合には、監査を行い事実関係を確認したうえで、講じた措置が不十分と判断された場合は、行政処分の対象となります。適切な運行管理を行うようお願いいたします。一方で荷主においても、トラック事業者への不要不急の運送依頼を控えていただくようお願いいたします。
- 大雪が予想される地域では、公共交通機関においても、大規模かつ長時間にわたる遅延や運休が発生するおそれがあります。
- 最新の気象情報や交通情報等に留意し、外出が必要な場合には、十分な時間的余裕を持って行動いただくようお願いいたします。

【1. 今後の気象の見通し】

1月19日11時時点

※各地の気象台が発表する気象情報等に留意ください。
最新の気象情報については、気象庁HPをご覧ください。
(<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=information&element=information>)

<大雪に警戒が必要な時間帯>

日	19日		20日	21日
	12~18	18~6	6~24	
茨城県				
群馬県				
栃木県				
埼玉県				
千葉県				
東京都				
神奈川県				
山梨県				
長野県				

(■ 大雪の可能性がある、■ 大雪の可能性が高い)

<大雪の見通し(単位:センチ)>

地域	21日12時までの 24時間降雪量	22日12時までの 24時間降雪量
関東地方北部山地	30~50	10~20
関東地方北部平地	20~40	1~5
箱根から多摩地方や 秩父地方にかけて	20~40	1~5
関東地方南部平地	5~10 (東京23区:0)	0 (東京23区:0)
甲信地方	20~40	10~20

予想される24時間降雪量(多い所)

【2. 過去の大雪における立ち往生事例】

令和4年1月6日の大雪

<大雪のため、首都高速道路で約100kmが通行止め>

○令和4年1月6日(木)は、東京都千代田区北の丸公園で10cmの積雪を観測するなど、関東地方南部を中心に大雪となりました。

○首都高速道路では、1月6日16時30分より通行止めを開始し、最大13路線、約100kmで通行止めとなり、全面通行再開までに1日を要しました。
この間、中央環状線などで多数の冬用タイヤ未装着車が立ち往生し、その解消に最大14時間を要しました。

○このほか、主要な国道においても冬用タイヤやチェーン未装着車によるスリップ事故が多発しました。



首都高速中央環状線の立ち往生発生状況
<令和4年1月6日>



国道357号 路面凍結によるスリップ事故
<令和4年1月7日>

【3. 整備局など現場の対応状況】

○雪による立ち往生や路面凍結によるスリップ等の発生が懸念される場合には、躊躇ない通行止めを行います。

(参考) 令和3年度の関東地方南部の大雪の立ち往生等の状況



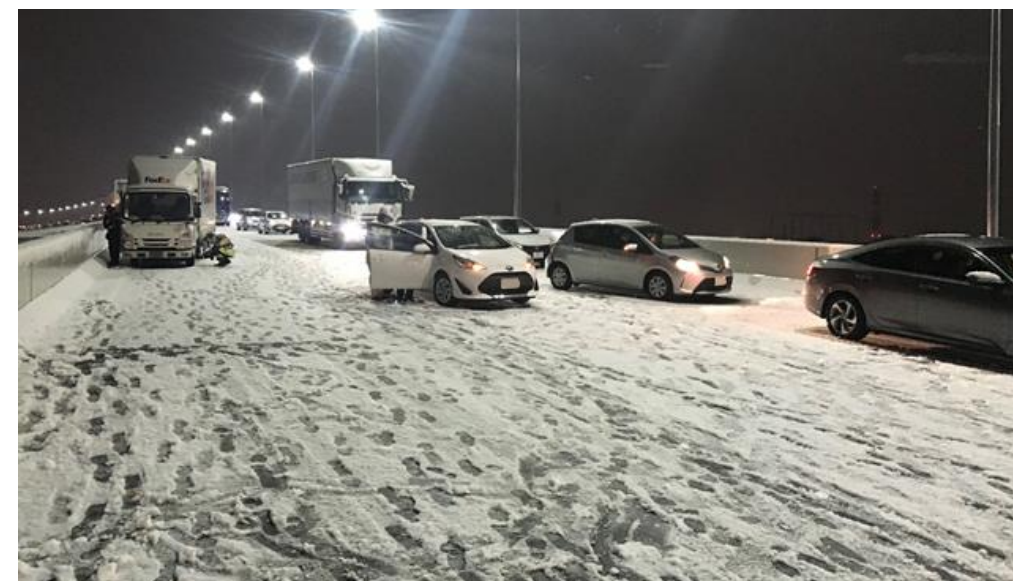
冬用タイヤやチェーン未装着車両による立ち往生
＜首都高速道路 横浜北線＞



車両の滞留
＜首都高速道路 台場線＞



冬用タイヤやチェーン未装着車両によるスリップ事故
＜国道357号＞



車両の滞留
＜首都高速道路 中央環状線＞